

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
1 【いきる】	④【夢や希望の大切さ】 夢や希望をもつことは、生きる価値を見出すことであり、つらく厳しい状況を乗り越えられることにつながることを実感する。	総合的な学習の時間

【題材】

キャリア体験学習

【実践の概要】

(1) 農業体験「八幡平市の農家で働こう」

ア ねらい

- ① 農業の仕事を通して働くことの楽しさ厳しさを学ぶ。
- ② 八幡平市の農業のすばらしさを理解し地元を大切に思う心を育てる。
- ③ 働くことの意義や将来について考える。

イ 参加者：1年生 41名

ウ 体験場所（八幡平市内農家）

農家氏名(地区)	品目	農家氏名(地区)	品目
小野寺政文さん(大更)	花(鉢物)	八角善悦さん(堀切)	キュウリ、キャベツ
武田初太郎さん(大更)	キュウリ、リンドウ	伊藤諭一さん(寺田)	キュウリ
田村道行さん(大更)	小松菜、ミニトマト	小野寺昭久さん(帷子)	ピーマン、キャベツ
滝川清光さん(寺田)	キャベツ		

エ 学習計画

事前(5h)：オリエンテーション、インタビュー内容、農家との打ち合わせ

実施(6h)：農業体験活動

事後(6h)：学習のまとめ、新聞づくり、礼状作成

オ 留意点

農業においてどのように働くことの価値をもって取り組まれているか、インタビュー等で十分に聞き取れるように考えさせる。



【振り返り】

○私たちの給食に出る野菜やスーパーで売っている野菜は、農家の方々がたくさん工夫をして野菜を食べる人達が安心安全に消費者に届くようにしているんだなあと思いました。農業はあまり使わず種まきから収穫まで人の目と手でチェックしているので、体験は大変だったけど、これで安心安全を届けることができると思いました。○キャベツは種まきをして1ヶ月たつと、葉が3枚になるという。成長したキャベツの葉を数えてみた。すると、53枚もあった。こんなに葉が詰まったキャベツは育てている人の努力のたまものだと思います。○この農業体験で、新しい農業の知識もプラスされました。八角さんのように人生を振り返ったときに悔いのない生き方をできるように頑張りたいと思いました。

○キュウリの出荷に使う新聞たたみや箱づくりや草取りは地味な作業だった。けれども、面倒くさかったり地味な仕事は、キュウリを商品にするために必要な作業だった。これをしっかりと我慢してやり遂げることが大切なことをわかった。○田村さんの小松菜は、育苗箱・畑・出荷の移植をうまく使い、15日間の短縮をしたり品質が良好な状態で出荷できるように日々工夫している。田村さんは「夢をもって最後まで諦めないことが野菜にできる」と繰り返し話した。僕たちが作業に疲れてきたときも「諦めないで最後まで続けるよ」と声をかけてくれた。僕はこの言葉を絶対に忘れない。

(2) 職場体験「地域の産業を体験しよう」

ア ねらい

- ① 八幡平市で働く人々の思いを理解し地元を大切に思う心を育てる。
- ② 働く体験をとおして将来について考える。
- ③ いろいろな人との関わりをとおして人間関係の大切さに気づく。

イ 参加者：2年生 60名

ウ 学習計画

- ① 事前 (6h)オリエンテーション、職場選択、マナー学習、質問内容
- ② 実施 (6h)職場体験活動
- ③ 事後 (5h)振り返り、礼状、まとめレポート

エ 事業所

事業所名	人数	移動	事業所名	人数	移動
三研ソイル	2	自転車	ホームック西根店	2	自転車
遠藤鶏卵	1	徒歩	サンコーソーイング	7	自転車
北部ディサービス	5	自転車	おらほの温泉	3	バス
平館自工	3	自転車	道の駅西根	2	バス
アルル	2	自転車	ニュートン	3	バス
麗峰苑	4	自転車	サラダファーム	12	バス
岩手銀行	3	自転車	八幡平ロイヤルホテル	8	バス
北岩手電工	3	自転車	平館保育園	3	バス

オ 留意点

それぞれの職場で働く人が、どのような願いや夢や目標をもってその仕事をしているかということ
を体験及びインタビューでつかみ取れるようにする。



【振り返り】

○サラダファームの花の種類のに驚きました。体験では、花を切る仕事が大変でしたが、お客様に「この花きれいだね」と言ってもらえてとてもうれしかったです。教えてもらった「ほう・れん・そう」をしっかりできるようになって、将来社会に貢献できるような大人になりたいです。 ○一番難しかったのは、ずっと中腰でわき芽と茎を見分けて取るのが大変でした。しかも、あんなに広いビニールハウスを2人だけで管理していると聞いて驚きました。「怠けるとすぐに樹にその結果が出てしまうけど、頑張っ て手をかけた分だけ甘くておいしいトマトができる」というお話から、私もがんばって手をかける仕事をした いと思いました。 ○食器運びをして、食べている人の顔を見たり「美味しかった」といわれたのがうれしい気持ちになりました。職場では働く人全員が笑顔でした。私はだんだん疲れて笑顔が無くなっていま した。ずっと笑顔でいるのは大変な事だと知りました。 ○僕は、こんなにたくさんの仕事を毎日一人で やっているのかと驚き感心しました。仕事は大変だけれども、その苦勞の先には大きな喜びがあるとい うことを学びました。働くということの意味が少しわかったように思います。 ○温泉は「源泉掛け流し」という岩手県にも数少ないものときき、八幡平市に素晴らしいものがあることを知りました。接客では「あ いさつ」が一番大切だということを知りました。ここでの社員の方の挨拶から、僕も家族で来てみたい気 持ちになりました。